レッスン：PYR No.50

テーマ：質問＆答え

KE06 No.13 21/06/06

私の姉妹・兄弟たちよ、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

過去のレッスンでは現在のパーソナリティーについて多く語りました。創造界及びディバイン（神）の黙想の仕事の達成を助けるために創造界の中にあるもの、について多くのことを話してきました。将来もこれまで皆さんに与えられたものに関してさらに分析していきます。今回のレッスンは大部分が質疑応答となります。

Ｑ：ギリシャ語ではオントピーシス(ontopiesis)は、英語におけるBeingness（存在）と同じ意味でしょうか？

Ｋ：Ontopiesisは自己実現したステートですが、絶対存在のワンネスの多重性とは違うものとして、モナドセルフがその個別性、モナドとしての自己を認識できている状態です。

**実存の波動のなかでは自己実現は「私は私である｝(I am I)と言うことができ、**

それは他の誰かの<I’ness>(私であること）とは異なっています。そしてこれは勿論、時間空間の意味のなかで私たち各人が異なった体験を経てきた結果として得られるものです。

Q：惑星ロゴスになるのはどのような段階ですか？

K：惑星ロゴスとはドミニオン（＊天使の階級の一つ）であり、それはスピリットセルフの結果としての段階です。前にも説明しましたが、一つの惑星の全人類が自己実現に到達すること、それはその惑星が自己実現したことを意味しますが、それは惑星ロゴスではありません。（惑星ロゴスとは）特定のスピリットが人間のイデアを通じてそれ自身の微細なスパークを発し、その結果現在のパーソナリティーとして転生し、その後多くの様々な転生を通じてその現在のパーソナリティーは自己実現に到達し、そしてスピリットセルフに戻り、スピリットセルフに自己実現を与えます。その状態がギリシャ語で言うオントピーシスです。

　そしてそのスピリットセルフは今や惑星上で、または太陽系において人間を助けることが＜可能＞になりました。惑星ロゴス、太陽系のロゴス、銀河系のロゴス、そして超銀河系のロゴス、等が存在します。ですから、今現在、この地球を担当している惑星ロゴスがいます。そしてその惑星ロゴスは、人間として実際に多くの経験を経てきているので、惑星上で全ての人間を助けることができます。彼は一つの惑星上の一人一人の人間に同調することができ、また同化することもできます。

　レッスンのなかで、

Lifeには数を超えていくらでも多重性の能力があると述べました；同時に何百万という人間、そして惑星上のすべての物理的現象に同調、同化することができるのです。惑星ロゴスは彼等がいろいろな体験をするように働き、それによって人間は啓発、悟りへと進んでいきます；つまり人間はいろいろなレッスン、学びを経て前進していくのです。

　ですから、これが惑星ロゴスの仕事です。だからといって自己実現に到達してから全ての人間が存在の諸世界に入るわけではありません。

　レッスンで述べたように、惑星として行うべき別の役割もあり、それは他の太陽系または銀河系における他の惑星上の同胞の人間達を助けることです。ET（＊地球外生物、いわゆる宇宙人）という現象がありますが、それは既に転生のサイクルを終えた自己実現した人類であり；彼等は高次ノエティカル体だけを使用し、Lifeの本質を完全に現しています。

Page2

　彼等は人々を導き、人々に問いかけ、私たちのこの世界だけが存在するわけではないこと、Lifeはこの世界だけではない、ということを知らせ、認識させようとします。彼等は他の同胞の人間たちの痛みを背負うことはしません、なぜなら他の人々のために自分を十字架にかける肉体を持たないからです。言い換えれば、彼等は肉体を持たないので不可視のヘルパーではありません。肉体を持たないので目には見えませんが。肉体を持っている時にのみ他人の痛みを代わりに背負うことができるのです。

Q：おかしな事ですが、地球という惑星全体が私たちに与えられているETからの助けに気づいているわけではありません。特に８つの自己実現した惑星が私たちを助けてくれているのに。

K：あなた方が個人として実際的体験があるわけではありません；通常は国、政府などが実際的体験をしています。いいですか、国や政府は他のシステムからの訪問者を実際に体験していますが、しかしそれをオープンにはしません。もちろん、他の惑星からの訪問者を証明する現象を目撃した人々もおり、またそれらの訪問者から害を受けたと言う人もいます。

その理由はそれらの人々が恐怖を感じているからであり、それ故にETたちはそれほど多くの現象を起こしません。なぜなら、（地球の）人類は彼等に恐れを抱かないレベルにまでは到達していないからです。なぜなら人々はそれらの＜訪問者＞について良く知らされていないからです。年月が過ぎて、より進化すればより多くの人々がそのような体験をするようになるでしょう。しかし現在のレベルでは人間は苦しみを代わりに背負って軽減してくれる不可視のヘルパーをより必要としているのです。

Q：４面ピラミッドの中に立っている時に、正面のサイドにいるイメージに意識を転送するエクササイズについて、もう少し説明してくれますか？

K：四面ピラミッドの底面に立つと、正面には純白の輝きのサイドがあり、その光の中に身体が見えます。その身体はそのサイドの輝きよりももっと光輝いています；**それは高次ノエティカル体を意味する体であり、自己実現した後で使うことになる体であり、私たちの内側にあるLifeのスパークの体と同一です。**そしてピラミッドの底面の真ん中に立っている時、正面にいるその体をじっと見ます。そして私たちのするべき努力とは、自分の意識が正面にあるその体に入ることです。意識と言うとき、それは現在のパーソナリティーそれ自体を意味します。そしてそのポイントから（＊その白く輝いている体から）目の前に見える自分の肉体(＊自分）を観察します。ですから、私たちは意識を自分の肉体から正面にある白く輝いている体に移動させる努力をします。

Q：その体を創造するのですか？

K：勿論、それを創造します。**そしてその創造された体は高次ノエティカル体を意味し、実際にはそれは私たちの内側にあるのです。**私たちがピラミッドを築く時、何であれそのピラミッドの中にあるものは私たちの内側にあるのです。

なぜなら、私たちの内側にはLifeのスパークがあり、何であれ創造界の中にあるものはLifeのなかにあるからです。実際、諸宇宙は私たちの中にもあるのです。

なぜなら、**私たちの内側にあるLifeのスパークは諸宇宙を包み抱くことができるからです。もし諸宇宙をLifeのスパークと比べるなら、Lifeのスパークは創造界全体よりずっとずっと大きいのです。**

**ですから、私たちから離れたところに何かを見ると言う時、実際にはそれは私たちの内側にあり、全ては私たちの内側にあるのです。**

　あなたが意識を高次ノエティカル体に移動させた時、（そこから）目の前にある現在のパーソナリティーである自分の肉体を観察します。そして今あなたは高次ノエティカル体を使用しているので、目の前に立っている身体が意味する現在のパーソナリティーを、より良く分析することができるのです。あなたは今ピュア－、純粋な体を使用し、その体の中の意識はその純粋性を使用することができ、

**その体を使用している間はあなたの現在のパーソナリティーはピュアーなので、何であれあなたの現在のパーソナリティーが正しくないことをしているのをより明確に見ることができるのです。**

　あなたの意識は高次ノエティカル体の中にあり、あなたは現在のパーソナリティーとして離れたところから自分を観察しています。それは自分が“誰か他の人”であるかのように。意識は実際には一つなので、それができるのです。それはあなたが純粋という位置から自分の現在のパーソナリティーに同調して、分析するのです。それは易しいエクササイズではありませんが、多くの努力をすれば現在のパーソナリティーがそれを達成することができます。

　Page3

　勿論、それを達成するためには、その前に与えられた他の全てのエクササイズを大いに行う必要があります。特にエーテルの特質をマスターするエクササイズを行い、また視覚化することができる必要があります。ですから、以前の全てのエクササイズはこの種のエクササイズをするためにも非常に重要です；勿論、様々なサイクルのなかにおける、創造界内の法則を象徴するいろいろな助けも扱います。

　避けるべきことは、自分自身を観察する自分と同一のエレメンタルを創造し、それを自分自身の意識の中で活性化することです。なぜなら、あなたが行う批判は二元性を使用するのでそれほど純粋ではないからです。

　また他人をジャッジすべきではないことに気づいているべきです。そして私たちが行う唯一のジャッジは、より良いセルフを現す上で助けになるように自分自身をジャッジすることです…その目的は他の同胞の人間達を助けるというポイントに到達することです。

Q：　永遠のアトムには体がないと言われましたが、でもあなたは永遠のアトムの中にはLifeのスパークと高次ノエティカル体があり、永遠のアトムは高次ノエティカル体と他の２つの体を使うといいました。

K：違います。**私が言ったのは、現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、サイコノエティカル体は実際に永遠のアトムにその形を提供し、それは一つになり、自己実現した現在のパーソナリティーと永遠のアトムは一つになるのです。その時初めて、自己実現した現在のパーソナリティーは前にも自分は存在していた、と言うことができるのです。なぜなら、永遠のアトムは乗り物であり、それぞれの現在のパーソナリティーを毎回転生させるからです。それは乗り物であり、それは潜在意識のセンターです。そこには時間空間の意味内でその特定の現れが行った全ての体験が記録されているのです。**

Q：その部分は理解しました。しかし理解できないのは、高次ノエティカル体はどこから入って来るのですか？

K：それは凝縮されたエネルギーの中であり、それは永遠のアトムです、それは乗り物です；その中に高次ノエティカル体があります。しかし、その体がLifeから提供されるためには、現在のパーソナリティーは自己実現に到達する必要があり、そして永遠のアトムの中には現在のパーソナリティーを転生させるLifeのスパークがあります。それが説明したように現在のパーソナリティーを活性化させます。なぜなら、現在のパーソナリティーはLifeによって活性化され、それはLifeの真の現れではありません。

　それは永遠のアトムの中にあると言う時、実際には全てはスパークの中にあるのですが、しかし全てはスパークの中にあるとみなされるためには、何であれスパークからのものを完全に現している必要があります。しかしそれはそうなっていません；そこには“距離”があります。全てそこに登録されたものが実際にそのスパークのなかに登録されているわけではありません。それらはスパークが活性化あるいはエネルギーを与えたどこかに登録されています、しかしそのスパークはその惑星自体が全体として、つまり自己実現した全ての人類が存在の諸世界に入る時、その時初めてそのスパークは自己実現したものとなるでしょう。その時だけであり、その前ではありません。

　ですから高次ノエティカル体とLifeのスパークはある程度まで距離を保つことでしょう；さもないと、もしそれらが同化されるとしたら、そのスパークは即座に存在の諸世界に入って魂のセルフエピグノシスに自己実現を与えるでしょう。そしてその時には自己実現したものとしてのSoul（魂）があるでしょう。しかし、それは起こりません。なぜなら、まだ現在のパーソナリティーの役割が続き、人間としての役割ではないのですが、実存の諸世界のなかの現れとしての人間の役割は続きます。

　どのぐらい長く続くのか、それはわかりません；それは自己実現した惑星が行わねばならない仕事によります。しかし、そこにはこの実存の波動の中で知っているような人間を見いだすことはないでしょう。もしあなたが自己実現した惑星を訪れるなら、そこに生命を見ることはないでしょう…私たちが知っているような生命は。なぜなら、それは必要ないからです。それゆえに、私たち人類がこの太陽系の他の惑星に行っても私たちが知っているような生命を見ることがないのです。**なぜなら、私たちの太陽系における他の全ての惑星は自己実現した惑星だからです。；地球はこの太陽系において（＊自己実現していない）最後の惑星です。**

Q：不可視のヘルパーまたは自己実現した人は他人の痛みを取り去ります、しかしその人は多くの人々を助けることによって、多くの人々の痛みを取るのですが、その人はどのようにしてそれを取り扱うのですか？

Page4

K : 誰かによって痛みが軽減するためには、不可視のヘルパーまたは霊的なヒーラーが相手の痛みの10分の１を背負います；つまりロゴスが10分の9を背負うということです；しかしロゴスはどこにいるのでしょうか？それもまたヒーラーの中にいます、Lifeのスパークはヒーラーの中にいます。

　誰かがそのようなそのようなワーク、仕事をおこなう時、それはそれを行うのは現在のパーソナリティーではなく、内側にあるロゴスです。なぜなら、その時にそのパーソナリティーは高次ノエティカル体を使用し、その高次ノエティカル体はLifeのスパークの全ての能力…物質化、非物質化その他…を有しています。

　肉体は痛みを背負い、そして10分の1は初めはLifeの体に与えられますが、しかしロゴスが来てそのヒーラーの特定の体からその痛みを軽減します；再び10分の1の10分の９です。そしてその体は100分の1の痛みだけを体験します。しかしそれだけではなく、その痛みは長くは続きません。

　しかしあなたが述べたように、時には同時に非常に多くの人々の痛みを背負うこともあります。そしてあなたは病気という症状を経験するかもしれません、そしておそらく手術その他を経験することになるかもしれません。痛み、確かに他人の痛みを軽減するためにはそれは必要なことです。しかしそれは他の同胞の人間達が考える痛みとは違います。あなたは笑顔と共にその痛みと直面します；そしてその種の痛みはとても甘いのです。

　そしてこれが痛みを背負うという時の意味です。他の同胞の人間達のために十字架に架けられるのです。これが天人が痛みを背負う方法です。このようにしてHe(彼）は様々な自己実現した人間を通じて宇宙の痛みを軽減するのです。なぜなら、自己実現した人は主の名前において働いているからです。何であれ彼が他人の痛みを軽減するためにしている時、それは主の名前において行っているのです。肉体は常に必要です、同じように主は創造界のなかで人間のために十字架に架けられたのです。

Q：絶対は主の存在に気づくために、創造の諸世界を通じてそれ自体を現す、と述べることは正しいですか、間違っていますか？

K：Lifeの主な特質は活動、震動、そして波動です。そしてもし活動があるなら、その動き、活動の結果があるはずです。その結果とはディバインの黙想です。さもないとそれは無であり、無からは無しか生じません。しかし、ディバインのそれ自身の中における黙想の結果として、それ自身の中に結果が生じます。なぜなら、創造界とはディバインの黙想の活動だからです。そしてこの活動の中に創造界の様々な諸世界があり、そして勿論この活動にはやるべき責務があります。そしてその責務とはこの活動を助け、また何であれその活動のなかにあるものを助けるようなものである必要があります。そしてレッスンのなかで述べたように、自己実現した人間は実際に活動を助けるようになっているのです。それが必要かどうかは別問題ですが。神はそれを必要とせず、絶対存在も必要としません。しかし、それにも関わらず、活動はアウタルキー (＊神の自足状態）のなかで“存在”しています。この活動は活動それ自体のためであり、絶対存在のワンネスを益するためではありません。それは活動それ自体を益するためです。そうです、それ自身のアウタルキーの中にいる神には必要とするものは何もありません；Lifeにはなにもニーズはありません；そして何であれLifeの本質を現さないものは、何であれこの活動の中で生じているのです。

　ですから、何であれこの活動の中にあるものはLifeの本質を現さず、そこにはニーズ、必要とするものがありますが、神にはそれはありません。それは何であれ終わりなき神の黙想の活動のなかにあるものを益するためです。なぜなら、神には初めも終わりもないからです。神はただ*is*(存在する）だけです。

　神とは何でしょうか？神は全ての原因であり、それはあらゆる人間の理解を超えたものです。それは全ての原因であり、全てはその原因の中にあります；そして存在の諸世界とは全てが全ての中にあるステートです。いいですか、この実存のステートのなかにおいてさえも、全ては全てのなかにあり、ただ私たちがそれを認識しないだけです。

Q：私たちはいつもエゴについて話しています、しかしそれは何でしょうか？それはそれ自身のために何かを要求することでしょうか？

K：あなたがエゴと言うとき、エゴイズムを意味していると思います；現在のパーソナリティーの小さな2つのエゴのなかのより小さいエゴのことを話していますね。なぜならエゴは一つではないからです。私たちの内側には二元性があります。より小さい方のエゴは、現在のパーソナリティーが常に静止している中に留まることを、痛みが表現されているステートに留まることを望んでいます。そして勿論、エゴイズムは現在のパーソナリティーの二元性のこの部分に根ざしています。

　まず最初の転生では二元性はそれ自身を現しません；転生が続くに従って徐々にゆっくりと二元性がそれ自身を現します。なぜなら、初めは2つの小さなエゴはワンネスのステートにあるからです；何回かの転生の後にそれらは分離し、その時初めて現在のパーソナリティーに罪の意識が生じるのです。

　初めは人間はお互いに殺し合い、お互いを食べており、そこには何の罪の意識もありませんでした。2つのエゴが分離すればするほど、現在のパーソナリティーはより多く罪の意識を現すようになります。そして勿論、2つの小さなエゴのなかの大きな方が現在のパーソナリティーとしての影を生み出す方に近づこうとし、それは私たちの内側にあるLifeのスパークです。そして２つのエゴが離れれば離れるほど、罪の意識（＊罪悪感）はより多く表現されるようになります。

　勿論、前のレッスンで述べたように、正しい思考には2つのやり方があります；一つはより小さいエゴが現すもの、もう一つはより大きなエゴが現すものです。私たちは大きい方のエゴだけを現すようにフォーカスすべきであり、それは正しい思考と私たちが解釈するものです。小さなエゴからの考えでも、それは正しい思考ではないかもしれないのに、私たちはそれを正しい思考、考え方と解釈します。

　ですから、2つの小さなエゴという二元性があり、それはエゴイズムではありません。エゴイズムとはそれとは異なったものであり、より小さなエゴの方が表現したものです。そしてそれらはより大きな方をだまそうとします。より小さなエゴはより大きなエゴに対して問題を作りだそうとします…その結果現在のパーソナリティーがLifeそれ自体からより多くを表現することがないように。そして勿論、より小さな方のエゴは現在のパーソナリティーが地のエレメンタルの中に留まり、人間の無知が創造した低次の波動のエレメンタルと結びついていることを求めています。

　より良いセルフを現そうとする全ての努力は、まず第一に五芒星を適切な位置にすることです。つまりポイントが上向きであって下向きではないということです。それはまた現在のパーソナリティーが惑星の中、エレメントの中にいて下向きになっているのではなく、惑星の上に立っていることです。それゆえに2つのシンボルがあるのです…上向きの五芒星は現在のパーソナリティーが低い波動のエレメンタルにフォーカスしていないということです。

　しかしまた下向きの五芒星もあり、それは現在のパーソナリティーがエレメントの中にあり、地のエレメントにフォーカスしているという意味です。そして勿論、現在のパーソナリティーがいわゆる通常の五感を使用している間は、五芒星は下向きになっています。私たちは5つの真の感覚を使用しようとするべきであり、そして5つの真の感覚は上向きの五芒星によって象徴されています。

　Lifeの骨組み、それはLifeの元型ですが、それにエネルギーをもたらそうとするいかなる努力も、それはこの骨組みの影（地のエレメントの中にある）にエネルギーを与えることになります。五芒星を適切な位置に持ってくる前に諸センターにフォーカスしようとする努力は低次元のエレメントとつながっている影にエネルギーを与えることになります。そして、それらのエレメンタルはパワーと能力を現している現在のパーソナリティーを騙しているのです。しかしそのパワーと能力、あるいは現象は現在のパーソナリティーそれ自身によって行われているのではなく、低次元のエレメンタル（それを悪魔と言うこともできますが）の使用を通じて行われているのです。そしてそれらは現在のパーソナリティーを騙しているのです。そして最後には彼等は現在のパーソナリティーから多くのエネルギーを吸収してしまうので、現在のパーソナリティーはどんどん弱くなり、最終的に死んでしまいます。

　ですから、私たちはパワーと能力を求めるべきではありません。そうではなく気づきを高めることを求めるべきです。そして何であれ私たちが現すパワーと能力はLifeそれ自身からより多くを表現する結果であるべきです…エレメントを使う結果ではなくて。それゆえに私たちは決して諸センター、特にいわゆるクンダリーニと呼ばれるセンターには触れるべきではありません。それは神、絶対存在のダイナミックな現れの監督下にあり、私たちはそれを聖霊と呼んでいます。

　そのクンダリーニは生殖器とつながっており、そのセンターは聖霊の監督下にあります。現在のパーソナリティーが進化成長のプロセスにある間、このセンターにはまったく手を触れるべきではありません。現在のパーソナリティーが自己実現に到達したとき、そのセンターは現在のパーソナリティーのために活性化されるでしょう。そしてその時初めてそれはアークエンジェル的（＊大天使的）状態を表すのです…言い換えれば、Lifeの本質（それは他の同胞の人間達に対する無条件のアガピ、愛）を現すようになるのです。現在のパーソナリティー自身が実際にアークエンジェルとなり、創造界内のアークエンジェル達と共同で働くようになるのです。

Page6

Q：現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、それは下の三角形の底辺に到達し、そしてその中には入りません。しかし、５番目のサイクルが完了すると、そのパーソナリティーは存在の諸世界の真ん中にある六芒星を身に纏うのです。

K：そうです。なぜならば、そのステートに到達すると、それはいわゆる火の洗礼のポイントです。その時あなたはここの三角形をマスターしました。それは4番目および5番目のサイクルを意味する三角形です。自動的にあなたは底辺を共有する2つの三角形を創造します（最初の火の洗礼がある三角形の底辺）。ここのポイントで。このポイントは何であれ創造の諸世界において表現されます。しかし現在のパーソナリティーはそこには留まりません。現在のパーソナリティーは転生のサイクルに留まり、他の同胞の人間達のために何であれ主の名前からのものを現します。

Ｑ：その展開は六芒星から下方に来るのですか？

Ｋ：そうです、現在のパーソナリティーは存在の諸世界、つまりLifeそれ自体の4つのヘブンには入りません。それらの下が3つの下のヘブン、つまり実存のヘブン、現在のパーソナリティーのヘブンです。

　このポジションは3番目のサイクルの完了です。それは現在のパーソナリティーが物質界にいても毎日の生活において真の5つの感覚を意識的に現しているということです。（＊一般の）パーソナリティーもファンタジーまたは夢の中では無意識的にそれらを現していますが。

　いわゆる生命の木は創造界の骨組みであり、それは最大を意味する骨組みであると同時に最小をも現しています。そしてそれは元型である人間のイデアの骨組みです。もし、私たちの実存の諸世界がLifeの本質を完全に現わすなら、この骨組が完全に活性化されて、人間のイデアフォームの状態を与える必要があります。もしそのように活性化されないなら、Lifeの本質を完全に現していないことになります。ですからこの骨組みを活性化するまでは、現在のパーソナリティーはLifeの本質を完全には現していないことになります。しかし、私たちが活性化するのは本物の骨組みであり、地のエレメントのなかにある影としての骨組みではありません。

　勿論、私たちの惑星（＊地球）には現在、初めて転生する人間はいません、しかし、人間としての転生が2回目の人も存在し、同時に何百万回も転生している人達もいます。なぜなら私たちの地球の年齢は非常に古いからです。勿論、サイコノエティカル的な成長は前よりも速くなっています。なぜなら、他の同胞の人間達が達成したことが、まだそこまで到達していない他の人々に影響を与えるからです。

　地球上の大部分の人間は今2番目のサイクルの真ん中あたりに近づいています。そして彼等はいわゆる無意識的意識のセルフエピグノシスを現しています。勿論、自己実現に到達している人達もいます、つまり同調を使用している人です；そしてまた3番目および4番目のサイクルにいる人達もいます。勿論、そのような人間の数は多くはありません。しかし、テオーシスに到達した人は誰もいません。そして前にも説明しましたが、最初に自己実現に到達した人は一番最後に実存の諸世界と存在の諸世界の境界を越えていく人です。自己実現に到達した全ての人間は私たちの間に留まり、助けるために留まり、地球上の最後の人間が自己実現に到達するまで留まって助けるのです。

Q：しかし、それは一度ある惑星が線を越えてしまえば、つまり目に見える形をもはや持たないすべての人間は 、もはやそれ以上学ぶことはないということですか？なぜなら、私にはそういうことは信じがたいので。

K：進化成長のプロセスのなかでは学べば学ぶほど、知るべきことと比較すると自分はほとんど何も知らないということがわかります。しかし、あなたが自己実現に到達した時でさえ、自分の利益のためには何も学びません、あなたは何であれ他人を益するために学ぶのです。なぜそうなのかは既に前に説明しました。あなたがある所まで到達すると、もはや自分のために必要とすることは何もないのです。それを次のように考えてください。あなたが例えばジャングルについて何の手がかりも持たない状態にある時、そのような状況においてあなたは何の努力もせずにそれに対処します。なぜなら、あなたがそこにいる瞬間、全ては自動的だからです。

終わり。